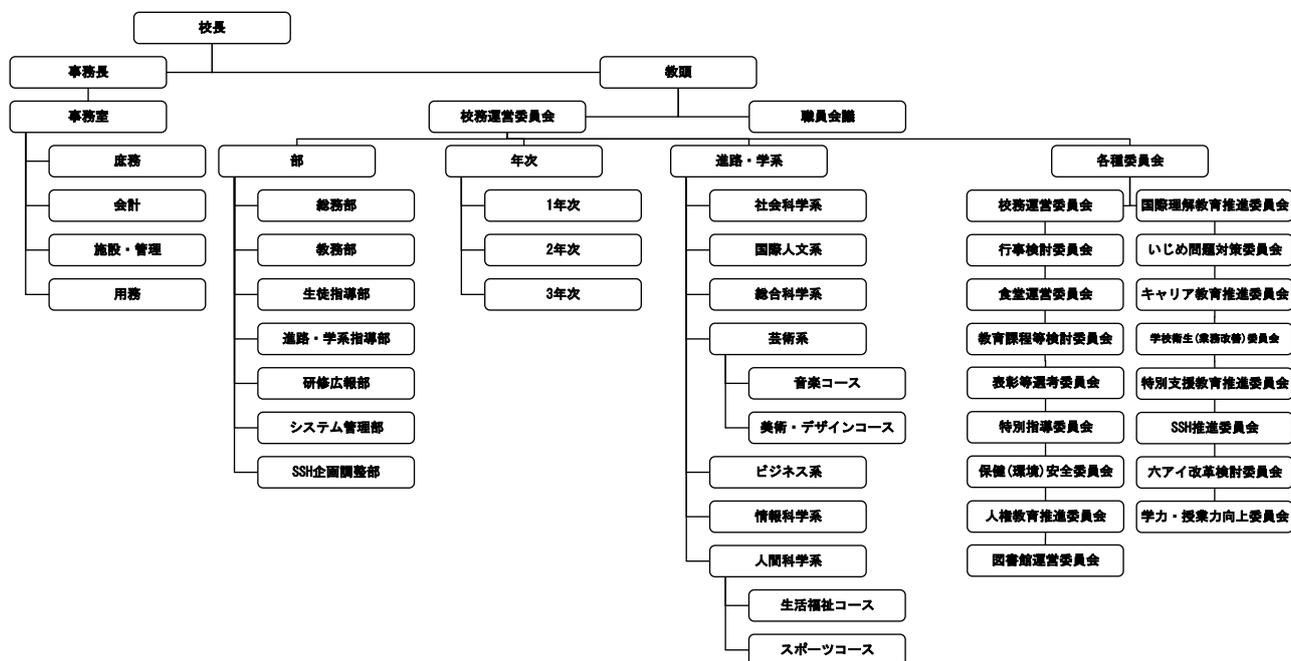


第6章 校内におけるSSHの組織的推進体制

担当：高橋 健太

1. SSH 推進に関わる部署等の学校組織上の位置付け



校長主導の下、平成 24 年度に校務分掌上の部署として SSH 企画調整部を立ち上げた。今年度は 5 名の教員(理科 3 名・数学科 1 名・実習助手 1 名)が SSH 事業に関する企画・連絡・調整の中心として機能している。SSH 推進委員会の構成は以下の通り。

令和元年度	教頭 2 名、SSH 企画調整部 3 名、学年代表(1 年 2 名、2 年 1 名、3 年 1 名)、ESS 部顧問 2 名、理科 6 名、総合科学系所属教員 3 名)の 21 名
令和 2 年度	教頭 2 名、SSH 企画調整部 4 名、教務部長、進路・学系指導部長、進路学系指導部 3 名、理科 2 名、数学科 1 名、英語科 2 名、ALT1 名、商業科 1 名、家庭科 1 名、福祉科 2 名の 21 名
令和 3 年度	教頭 2 名、SSH 企画調整部 5 名、進路・学系指導部長、進路学系指導部 2 名、理科 1 名、国語科 1 名、英語科 2 名、情報科 1 名の 15 名

神戸市教育委員会の支援により、平成 25 年度から SSH に対する目的加配の常勤講師 1 名が配当されており、令和 3 年度には SSH 企画調整部を 4 名から 5 名に増員している。

2. 教員の理解や協力を得るために行った取組

教員の SSH に対する意識や理解を高めるため、昨年度に引き続き SSH の取組をまとめた広報紙 SSH NEWS を定期的に発行し、取組内容を積極的に掲載することで、教員の SSH に対する理解向上の材料として活用している。また、SSH 事業で培った指導の成果やノウハウを拡げるべく、教員研修を実施し、教員の探究活動に関する理解力・指導力の向上を図った。さらに、次期申請に向け申請書類を全職員で共有協議することによって、全職員の理解を深めた。